

アサヒペン



油性 超耐久屋外用 ニススプレー

1液型ウレタンニス

用途 玄関ドア、外板、フェンス、ガーデン用品等の屋外木部
(床を除く)

標準塗り面積(2回塗り)

0.5~0.8㎡
タタミ0.3~0.5枚分

乾燥時間

夏期/4~6時間
冬期/8~15時間

紫外線吸収剤により
変色を防ぐ



300ml

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 油性超耐久屋外用ニススプレー
成分名 合成樹脂塗料
成分 合成樹脂(ウレタン樹脂)、油脂、紫外線吸収剤、有機溶剤
使用方法

1. 塗る面のゴミ・油・分・さび・カビ・ワックス等をとりす。
2. はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
3. 目の粗い木部は木部用プライマーを塗装してサンドペーパー(＃240くらい)で軽く研ぎます。旧塗膜がある場合は、サンドペーパー(＃400くらい)で研ぎます。
4. ニスを吹く際の周囲は、マスキングテープなどでおおいます。
5. 使用するときは、容器を充分に振り(かくはん)の音が聞こえてから約30秒間、よく混ぜます。使用中もときどき振り動かして中身をよく混ぜます。
6. ニスを吹きつけるとき、塗る面と噴出口の間は25~30cmの間隔をとります。ニスは楕円形に噴射されますが、ニスの出る赤い部分をまわすことで均一な被膜にもできます。
7. 目立たない部分で試し塗りをし噴射の状態・乾燥性・下地の影響・密着性などをよく調べて異常がないことを確かめてから塗ります。
8. 一度に厚塗りしないで、塗る面と平行に移動しながら、ややすめまんにまんべんなく2~3回くらい塗り重ねます。さらに塗り重ねる場合は1日(冬期は2日)以上おいて、1回目の塗膜にサンドペーパー(＃600以上)をかけてから塗ると、よりきれいに仕上がります。乾燥が不十分な場合、塗膜がシワ状に浮き上がることがあります。
9. 使用後は、噴出口がつかまらないよう容器を逆さにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。

用具の手入れ方法 ヘントラうすめ液で洗って下さい。

警告



- 引火性あり ●皮膚刺激 ●呼吸器への刺激のおそれ
- 眼刺激 ●水生物に非常に強い毒性

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

第2石油類135ml/危険等級Ⅲ/火気厳禁
合成樹脂クリヤ塗料(U-012)

破棄時のガス抜きキャップの使い方

注意事項

1. 必ず中身を使い切ってから行って下さい。
2. 火気のない屋外で行って下さい。
3. 塗料が飛び散っても支障ありません。
4. 塗料が乾かないような平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法

1. スプレーから押しボタンを引く抜きます。
2. キャップの内側にディッシュペーパーを5~6枚詰め、セロハンテープで浮かさないように止めます。



取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②食品に直接触れるものには塗らないで下さい。③体調が悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。④天気の良い湿度の低い日に塗って下さい。湿度が高いときに塗ると、塗膜が白くもることがあります。⑤取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋(ポリ手袋など塗料が透過しないもの)を使用して下さい。⑥有機溶剤が含まれているので、塗装・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑦ニスを吹きつけるときは、人や物にからまないよう注意して下さい。⑧容器を逆さにした状態で吹きつけで下さい。⑨塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。⑩やむを得ず中身のニスを捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一級ゴミとして処分して下さい。⑪容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中のガスとニスを充分に放散し、他のゴミとしっかり区別して捨てて下さい。⑫容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので、取扱いに注意して下さい。

保管上の注意 ①幼幼の手が届かないところに保管し、子供が誤飲、誤食、いたずらしないよう注意して下さい。②中身が漏れたり破損する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- ①炎や火気の近くで使用しないこと。
- ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- ④火の中に入れないこと。
- ⑤使い切って捨てること。

高圧ガス:DME



フィル材: プラスチック(PP)
キャップ: プラスチック(PP)
ポン: プラスチック(PE)
器: スチール

日本製
01-1502

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asashipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。